



めぐみだより No.3

令和5年10月

うさぎぐみ

2学期早々から運動会に向けて練習を重ねてきました。「去年のうさぎぐみさん、こんなことしてたね」と思い出しながら、「今年の”運動会を作り上げてきました。特に暑かった今年の夏、子どもたちは自発的に「熱中症にならないようにお水飲むね」と体調管理する姿があったり、練習の準備も「やっておいたよ」と率先して行ってくれていたり、1学期よりも頼もしくなった姿がありました。練習中、自分のチームが負けても、誰一人としてお友だちのことを責める子はおらず、もっとよくなるよ、という保育者のアドバイスにしっかりと耳を傾け、子どもたち同士で励まし合う姿ばかり見受けられました。最初は「走るの楽しい、勝敗は気にしない」という様子でしたが、練習を重ねていくうちにチームで戦うということの意味を感じ始め、友だち同士で補い合って1つの競技を完成させていく姿はさすがだなと感じました。チーム分けや走る順番も子ども達と相談しながら決めました。最強チームを作ろうとしていた子も、赤白同じ力じゃないと勝負はつまらないと気付いたり、負けても出来なくても諦めない！もう1度頑張る大切さなどを、運動会を通して感じる事ができたと思います。

遠足は運動会が終わってすぐの行事でした。「お母さんお留守番の遠足だから、うさぎぐみのみんなにも先生のお手伝いで小さい子のお世話をお願いしたいんだけどいいかな？」と聞くと「もちろん！まかせて！」とやる気満々♪手をつないで歩く相手を決めて、遠足の歌の練習もして、当日を楽しみにしていました。小さい子と手をつなぐのも一苦労です。。その過程で様々な心の葛藤も見られました。なかなか思うようにいかないなか、諦めず相手の心に寄り添い、面倒を見てくれる姿に、本当に心の優しいうさぎぐみさんだなあと感じました。遠足を通して年長児としての意識がより高まりました。

はとぐみ

10月の運動会に向け、はとぐみ同士で協力し合い失敗や工夫を繰り返しながら、ひとつひとつの“出来たこと”に対して自信がついた姿が多く見られました。

練習ではまず、自分たちの得意なことを探すことから始まりました。探していく中で自分が得意なこと、苦手なことがわかり「見て！見て！」と、得意気な顔で知らせてくれるようになっていきました。一方で「もう少しでできそう」と、頑張る姿もありました。「もう少しでできそうなのに、できない」という葛藤により、初めから「できない」と諦めてしまうこともありましたが、その都度「やればできるよ！いっぱい練習したらできるようになるよ！」などの声かけをしながら、子どもたちと一緒に「できない壁」を乗り越えた9月・10月でした。

“先生がそばにいない”という不安と心配からなのか、競技をするときに不安そうな顔を見せる様子もありましたが、「自信をもって頑張ろうね」と何度も伝え、運動会では一人ひとりが全力で自分を表現することができたのではないかと思います。

遠足では、自然に触れながら五感を使い全力で楽しむ姿が見られました。カエルを見つけ捕まえようとした際には、どうしたら上手く捕まえられるかを保育者と一緒に考え、「こうしたらどう？」「こうしたら逃げちゃうよ」など、試行錯誤しながら夢中になっていました。幼稚園では体験できない面白さや不思議さ、空気感など子どもが感じたことを大切にしながら心の中の豊かなイメージがさらに育つよう援助していきたいと思っています。

ひよこぐみ

夏休みの楽しかった思い出をマイクで発表したのを機に、2学期から降園前に今日楽しかったことをみんなの前で話しています。保育者が作っていたマイクに興味を持ち「作りたい！」と廃材で土台を作り、折り紙やリボンで飾り付け自分専用マイクも作りました。マイク片手に意気揚々と「夏休みにライトレール乗ったのが楽しかったです！」や「今日は〇〇ちゃんと砂場で遊んだのが面白かったです」など発表を毎日楽しんでいきます。

9月には、1学期からの絵の具遊びの続きとして、初めてのフィンガーペインティングをしました。画用紙を沢山貼り合わせて大きなキャンパスを作り太鼓橋にぶら下げておくと、「やりたい！」「黄色がいい！」「〇〇は赤がいい！」と言いながら手の平に絵の具をつけたり、指で絵の具をなぞったり、ギュッと絵の具を握ったり感触を味わいながら目をキラキラさせていました。初めての感触に最初はちょっとびっくりする子もいましたが、保育者と一緒に触れてみたり、友だちの遊ぶ姿をみるのを楽しんだりその子なりの関わり方で遊ぶことができました。また、「赤と黄色まぜたらオレンジだね！」「これ混ぜたら何色かな？〇色だ！」と色が混ざる面白さや発見を楽しむ姿もみられ、白いキャンパスには、子ども達の手型や足型がのびのびダイナミックに表現されました。それが運動会の親子競技で使用した、お店屋さんの看板の土台になっていきました。一つの遊びや活動の経験・面白さが日々の保育につながっていくようにこれからも考えていきたいと思っています。

初めての運動会では、大きい組さんの練習する姿を見ながら運動会の雰囲気を感じ興味を持っていきました。最初に行進の練習をした時には興味が薄い子も多かったのですが、大きい組さんのかっこよく歩く姿を見ながら少しずつ音楽に合わせて歩けるようになりました。保育室で様々な音楽をかけて楽しんでいた際に、ジャンボリミッキーの音楽に「知ってる♡」と言いながらリズムに合わせて乗っている子が多かったので、ポンポンやお面を作り子ども達の気持ちを盛り上げながら、はと組さんの競技に混ぜてもらい楽しく踊りました。

当日は、初めての運動会にドキドキしたり、大勢のお客さんに緊張したり様々な姿がみられましたが、練習で見せてくれた笑顔・頑張った経験は、はと組さんへと繋がっていく大きなステップになっていくと確信しています。

初めてお家の人と離れて行った遠足では、うさぎ組さんに手を繋いでもらい優しく声をかけられながら歩きました。途中「歩きたくない」「おなか空いた～」「ミニ機関車にもっと乗りたい🥰」「荷物持ちたくない」など、ひよこ組ならではの紆余曲折ありましたが(笑)自然に親しみ、遊具で遊び楽しい一日を過ごすことができました。

今後も秋の自然に触れ散歩を楽しんだり、秋の自然物を集めたり、自然物を取り入れた遊びをしたり、それぞれの思いを認めて展開していくように考えていきます。

